

安保破棄ニユース

No. 466
2016. 2. 5

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三-〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一-三三
TEL 〇六-六七六三-三三三三
FAX 〇六-六七六三-三三三六
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ http://www.anpo-osk.jp

佐喜真氏再選でも、 辺野古容認ではない！！

宜野湾市長選挙を終えて

24日開票を期待しながらの帰途でした。しかし、結果は5857票差（前回は900票差）の大差で負け、シムラ恵一郎さんを市長に送ることはできませんでした。いつもの沖縄と違って雨・風が激しく、寒い中での支援行動による身体の消耗と敗北の痛みも重なり、しばらく疲労感が芯から取れません。

琉球新報は、出口調査の結果で「普天間飛行場の辺野古移設について56%が反対、賛成は33・2%」と報道。沖縄全体の世論調査では、賛成が10%台であるのに比較して高くなっているのが気になります。しかし、反対の人の3割が佐喜真氏に投票したとしています。佐喜真陣営は、「普天間の固定化反対」は叫ぶが、辺野古新基地については、政府が決める問題だから賛否を表明しないという戦術をとりました。安倍政権の対応とは違い、独自性を主張したことで、県内では辺野古反対を表明している公明票を取り込み、同時に与党市議16名（野党は9名）が、地盤押さえを徹底したと言われています。朝日新聞や琉球新報の社説では、「再選されたが辺野古容認でない」と強調しています。

まだ、沖縄統一連や翁長知事を支えるウマンチュの会などの総括文書が発表されていないので、分析はできません。でも宜野湾市の抱える問題は根深いと感じました。

米軍が住民から土地を奪って普天間基地を建設し、70年以上が経過しました。宜野湾市のウィーキーペディアには、「基地不動産業は、本市においては活発である」と。実際私たちが担当した「伊佐」地域は、マンションやアパートが林立していました。昨年、著書「沖縄の覚悟」をまとめた来間泰雄（沖縄大名誉教授）さんは、軍用地料引き上げの功罪を指摘しています。人間は不労所得を得ることで、堕落していきます。「基地経済」に頼れば、平和と人権、自由と人間尊厳の問題を損なうのだと批判します。こうした背景を持つ自治体で、翁長知事が代執行裁判の冒頭陳述で延べた「魂の飢餓感」の言葉を改めて深める議論が必要だと思います。



世界一危険な普天間基地、その周りの住居を頼って住民が増加し

2000万署名成功に向けて

平和友好10団体署名推進会議開く

ています。沖縄県では、「子どもの貧困」が約30%になり、全国平均の2倍以上と報告されています。普天間基地をなくして、産業や商業など沖縄経済のエンジンが必要なのです。沖縄での大きな矛盾を解決するその第1歩が、「辺野古新基地を許さない」ことであることを再度確認しながらたたかいて進める決意です。

「戦争法の廃止を求める統一署名」（2000万署名）を成功させるために、大阪の平和友好団体として、署名推進会議を1月27日に開きました。

各団体の取り組み交流の中で、「打てば響く。反応は行動に比例している。」「断られることがない。こんな楽しい署名は初めて。」などの声が出されました。

平和友好団体として、署名を訴えるための宣伝物をつくらうということになりました。大阪AALA理事長の澤田さんの提案で、「署名にご協力ください」ではなく、「あなたの署名が戦争を止める！」という訴えかけにしようということになりました。「受け身ではなく、全ての人が自分のこととして署名を集める主体となるう！」ということだけではない。

共同の行動としてやっていこうということになりました。共同ニュースを発行することも決めました。

（当面の行動日程）

- 2月15日（月） 12時〜 近鉄上本町駅前
- 23日（火） 12時〜 淀屋橋
- 3月19日（土） 府内100か所宣伝

23宣伝行動

1月の23定例宣伝行動を25日の月曜日に行いました。

宜野湾市長選挙の結果を受けての宣伝行動でしたが、なおさら声を上げていかなければいけないという思いでの宣伝行動でした。

この冬一番の寒さの中でしたが、それでも立ち止まり、思いを語りながら署名をしてくれる人もいました。

2月の大阪安保23宣伝行動は、2月23日（火）です。12時から淀屋橋で行います。平和友好団体の戦争法廃止署名の統一行動にもなっています。多数の参加で、宣伝・署名行動を成功させましょう。

辺野古埋め立て反対！で

3つの裁判闘争

翁長雄志知事の辺野古埋め立て「承認取り消し処分」の取り消しを求めて国土交通相が提起した代執行訴訟の第3回口頭弁論が1月29日午後2時から、福岡高裁那覇支部（多見谷寿郎裁判長）で開かれました。

多見谷裁判長は弁論終了時に県と国双方に和解を勧告しました。県弁護団によると、行政事件訴訟で和解勧告が出されるのは異例。和解案は「根本的」と「暫定的」の二つの解決案が示されたという。現在のところ県、国双方とも拒絶する意思は示していません。しかし、「非公開」で進められることに批判が強まっています。

また多見谷裁判長は翁長知事への本人尋問を2月15日、稲嶺進名護市長への証人尋問を同29日に行うことを決めました。同29日に結審します。

現在もゲート前や海上での反対運動が続いているのに、機動隊に守られて、埋め立て工事が進行しているのは、翁長知事の取り消し処分に対して、国が代執行と同時に「執行停止」を命令したからです。この「執行停止」処分を不服として、沖縄県は昨年12月25日に裁判を提訴しました。これが二つ目です。

翁長雄志知事の承認取り消しを国土交通相が執行停止したことをめぐり、国地方係争処理委員会が県の不服審査申し出を却下したことを受け、県は2月1日、国を相手取り福岡高裁那覇支部に提訴しました。地方自治法に基づき執行停止の取り消しを求める内容で、執行停止が違法だと裁判所に判断を求めることで辺野古新基地工事を止める狙いがあります。これで合計三つの裁判が並行します。

「オール沖縄」に呼応して中央レベルでの共同もすすめられています。昨年、3回の国会包囲行動や、「辺野



当面の予定

2016年

2月

11日（木）建国記念の日不承認の集い
(13:30~アウィーナ大阪)

13日（土）大阪安保2016年度幹事会（総会）
大阪革新懇総会

14日（日）安保破棄全国代表者会議（東京）

15日（月）大阪安保50周年誌編纂委員会(13:00~)
「わかもの集まれ！！沖縄いこかの会」
(19:00~大阪平和委員会)
平和友好団体共同署名行動
(12:00~上本町)

19日（金）~22日（月）「沖縄の声を聞こうツアー」
(大阪青年沖縄ツアー)

23日（火）23定例宣伝行動(12:00~淀屋橋)

24日（水）5・3集会実行委員会(18:30~エル大阪)

25日（木）平和友好団体署名推進会議
(10:30~大阪平和委員会)

26日（金）大阪安保50周年誌編纂委員会(13:00~)

27日（土）大阪多喜二祭(13:30~クレオ大阪東)

3月

2日（水）常任幹事会(10:00~大阪安保)

4日（金）「辺野古新基地は許さない」学習会Ⅱ
(18:30~エル大阪南館734号室)

沖縄の声を聞こうツアー

(大阪青年沖縄ツアー)

カンパのお願い

2月19日~22日の日程で、「沖縄の声をきこう大阪青年沖縄ツアー」をおこないます。18人が参加する予定です。

沖縄の現状を自らの目で見て感じることで多くのことが学べます。

多くの青年がツアーに参加できるよう、カンパを集めています。ご協力をお願いします。

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

2016年幹事会(総会)

講演 首都圏における日米同盟強化の現状

講師：豊田 一忠 さん

「日米政府が横田基地を使って世界の平和と安全を脅かし、私たちの生活環境を破壊している現状をふまえて、この基地の撤去を求め、その実現に必要な活動に取り組みます」を目的とし活動している、「横田基地の撤去を求める西多摩の会」の事務局長。東京地評副議長・三多摩労連副議長としても活動。
元 都教組副委員長・西多摩支部委員長

2016年2月13日（土）
午後1時開場 午後1時半開会
午後5時終了予定
大阪府社会福祉会館405号室
1時半~ 講演
「首都圏における日米同盟強化の現状について」
午後3時~ 幹事会（総会）
総括・情勢・活動方針・討論

【連絡先】
安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会 ☎06-6763-3833



(会場までの地図)
地下鉄谷町6丁目駅下車
④出口より南へ250m
谷町7丁目交差点西はいる

古に基地はつくらせない」11・29大集会を主催した国会包囲行動実行委員会と総がかり行動実行委員会の共催により、「止めよう辺野古！2・21国会包囲行動」をこれまでを大きく上回る規模で成功させようと準備がすすめられています。

3月4日（金）午後6時半から、「辺野古新基地は許さない」学習会パート2を開催します。エル大阪南館734号室です。沖縄の問題は沖縄だけの問題ではないという思いをしっかりと広げていくためにも是非ご参加ください。